

評価計画作成資料（案） 1 年

単元名		配当時間	学習目標 【学習指導要領の指導事項】・教材名	
一 さあ始めよう		1	・身近な筆記用具の持ち方を考える。 ○ふだんよく使う筆記用具の持ち方を考えよう	
時	観点 評価の 点	学習活動における具体的評価規準 (B「おおむね満足できると判断される」状況)	評価方法	☆ Bを実現していない学習者への手だて の例
1	度 関心・意欲・態	○鉛筆などのよく使う筆記具について、さまざまに工夫して、書きやすい持ち方や角度を見つけようとしている。	行動の観察	☆○持ち方や角度の違いが、書きやすさや字形にどのように影響するかを指摘させる。
	言語についての技能	○鉛筆など、よく使う筆記具の持ち方について理解したうえで、書きやすい持ち方をして、書いている。	書字活動の点検	☆○どの持ち方が書きやすいのかについて、  の4つの図版ABCD（p.2 上段）と同じ持ち方をさせて親指・人さし指・中指の位置がどのように異なるのか確かめさせる。また、  の3つの図版（p.2 下段）についても、同じ持ち方をさせて筆記具を持つ角度がそれぞれどのように異なるのかをもとに確かめさせる。

単元名		配当時間	学習目標 【学習指導要領の指導事項】・教材名	
二 楷書の書き方を確かめよう		3 ①② 2 ③④ 1	・文字の整え方を理解して書く。 【書ア 字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと。】 ① 整った文字の秘密を見つけよう ② 文字の部分と部分の関係を考えよう ③ 筆順を味方にしよう ④ 学習を生かそう	
時	観点 評価の	学習活動における具体的評価規準 (B「おおむね満足できると判断される」状況)	評価方法	☆ Bを実現していない学習者への手だての例
1 2	関心・意欲・態度	①整った文字を書くためにはいくつかの要素が必要であることと、筆写体には活字と異なる特徴があることを理解しようとしている。 ②文字の部分と部分の組み立て（左右・上下・内外）には「部分と部分のゆずり合い」がはたらいっていることを理解しようとしている。	行動の観察 書字活動の点検	☆①整っていない文字に見られる形や、筆写体と活字体との違いを指摘させる。 ☆②部分と部分のゆずり合いがない文字（p.5 上段）の形と比べさせて、部分と部分の組み立て方を確かめさせる。
	言語についての技能	①整った文字の主な要素と筆写体の特徴を理解し、その要素や特徴を生かして書いている。 ②文字の部分と部分の組み立て方を理解し、それぞれの組み立て方を生かして書いている。	書字活動の点検 制作物の確認	☆①文字を整えて書く要素に「中心・間隔・方向・画の長さ・右上がり」などがあることを、他の具体例も加えながら確かめさせる。 ☆②文字の部分と部分の組み立て方に「ぶつかる部分を切り取る・幅を狭くする・高さを低くする・空いているスペースに合わせる」などがあることを確かめさせる。
3	関心・意欲・態度	③筆順が、文字を正しく整えて能率よく書いたり、文字を覚えたりするうえで有効であることを理解しようとしている。 ④字形の整え方のあらましについての理解を生かそうとしている。	行動の観察 書字活動の点検	☆③基準となる筆順で書かれた文字とそうでないもの（p.6 上段）とを比べて、その違いがどこにあるかを指摘させる。 ☆④字形の整え方のあらまし（p.7「改善した点」および p.6「筆順の原則」）が文字を整えて書くことに必要であることを確かめさせる。
	言語についての技能	③筆順の意義を理解し、筆順の原則を確かめながら書いている。 ④字形の整え方のあらまし（p.7「改善した点」および筆順）を確かめて、自分の字形を改善して書いている。	書字活動の点検 制作物の分析	☆③筆順の意義1～3（p.6 下段）について、㊦～㊧（p.6 上段）と関連づけて整理させる。 ☆④文字を整えて書くために必要な要素や組み立て方、筆順について、これまでの学習を振り返って、具体的な文字をもとに確かめさせる。

単元名		配当時間	学習目標 【学習指導要領の指導事項】・教材名	
三 仮名を交えて書こう（漢字と仮名）		5 ① 2 ②③ 2 ④ 1	・仮名の交え方を理解して書く。 【書ア 字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと。】 ① 平仮名の書き方を確かめよう ② 漢字と仮名を交えて書く方法を見つけよう（文字の大きさ・字間・行の中心） ③ 漢字と仮名を交えて文章を書こう（行間） ④ 学習を生かそう	
時	観点・評価の	学習活動における具体的評価規準 (B「おおむね満足できると判断される」状況)	評価方法	☆ Bを実現していない学習者への手だての例
1 2	欲・関心・態度	①平仮名の字形と書き方を、自分の字に生かそうとしている。	書字活動の点検	☆①自分の書いた字と「平仮名の書き方の特徴」(p.9)の字とを比べて、どこを直したらよいかを指摘させる。
	技能 言語についての	①平仮名の書き方の特徴を理解して、自分の平仮名を改善して書いている。	書字活動の点検	☆①自分の平仮名について、「字形例」(p.8㉒)と「比べるときの視点」(p.8下段)を参考にして、どこを改めたらよいかを確かめながら書かせる。
3 4	関心・意欲・態度	②漢字と仮名を交えて書く方法を理解しようとしている。 ③漢字と仮名を交えて文章を書くときの方法を理解しようとしている。	行動の観察 行動の観察	☆②漢字と仮名の交え方が不適切な例 A・B・C (p.10) と、適切な例Dとを比較させ、その違いを確かめさせる。 ☆③漢字と仮名を交えた文章の行間の取り方が不適切な例 (p.11 上段) と、適切な例 (p.11 下段) とを比較させ、その違いを確かめさせる。
	言語についての技能	②漢字と仮名を交えて書く方法（文字の大きさ・字間・行の中心）を生かして書いている。 ③漢字と仮名を交えて文章を書くときの方法（行間）を生かして書いている。	書字活動の点検 書字活動の点検	☆②漢字と仮名の交え方が不適切な例 (p.10 下段) で、補助線や大きさの比較により、注意すべき点を確かめさせる。 ☆③はがきの例 (p.11 下段) に補助線を引かせるなどして、行間の取り方を確かめさせる。
5	欲・関心・態度	④漢字と仮名の交え方のあらまし（①～③）についての理解を生かそうとしている。	書字活動の点検	☆④漢字と仮名の交え方のあらまし（①～③）が、漢字と仮名を交えて書くうえで必要であることを確かめさせる。
	技能 言語についての	④漢字と仮名の交え方のあらまし（①～③）を確かめて、その方法を生かして書いている。	制作物の分析	☆④漢字と仮名の特徴の違い、両者を交えて書くときの方法、平仮名の書き方について、これまでの学習を振り返って、具体例をもとに確かめさせる。

単元名		配当時間	学習目標【学習指導要領の指導事項】・教材名	
四 漢字を速く書こう（行書）		7 ①② 1 ③ 5 ④ 1	・行書の基礎的な特徴を理解して書く。 【書イ 漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書くこと。】 ① 速く書くと文字の形はどうなるだろう ② 行書の特徴を確かめよう ③ 行書の特徴を確かめながら書こう ④ 学習を生かそう	
時	観 評 点 価 の	学習活動における具体的評価規準 （B「おおむね満足できると判断される」状況）	評価方法	☆ Bを実現していない学習者への手だて の例
1	関 心・意 欲・態 度	①速く読みやすく書くことに関心をもっている。 ②楷書と行書の字形の違いを比較しながら、行書の特徴を理解しようとしている。	行動の観察 行動の観察	☆①速く書いた字が、「ゆっくりとていねいに」書いた形と変わった点を具体的に指摘させる。 ☆②楷書と行書のどこを比較したらよいかについて、具体的な形（p.15㉔～㉕）をもとに確かめさせる。
	言語についての技能	①速く書くことによって、「折れ・払い・止め・はね」の形や文字の読みやすさに変化が生じることを理解している。 ②楷書と行書の字形上の違いを理解したうえで、行書で書くことの効果を理解している。	行動の観察 行動の観察	☆①速く書くことによって、もとの形と比べてどこが変わるかを意識しながらもう一度書かせる。 ☆②行書で書くことの効果が、行書の特徴（p.15㉔～㉕）に基づいていることを確かめさせる。
2 3 4 5 6	欲 関 心・意 態 度	③行書の3つの特徴について、文字例を参考にしながら書いて、確かめようとしている。	書字活動の点検	☆③行書の3つの特徴が、文字のどの部分で用いられるかを確かめさせる。
	言語についての技能	③行書の3つの特徴について、それぞれが用いられる部分を確認して、その特徴を生かして書いている。 ㉔ 点画が丸みをもつ（曲線化） ㉕ 点画が連続する（筆脈の連続・直接連続） ㉖ 点画が変化する（形の変化・方向の変化）	書字活動の点検 制作物の確認	☆③行書の3つの特徴のそれぞれについて、拡大された形（p.16～18 上段）を指でたどらせる（指書きさせる）ことによって確かめさせる。
7	欲 関 心・意 態 度	④行書の書き方のあらましについての理解を生かそうとしている。	書字活動の点検	☆④行書の3つの特徴が、文字を速く読みやすく書くうえで必要であることを確かめさせる。
	言語についての技能	④行書の書き方のあらまし（p.16～18㉔～㉕）を確認して、その方法を生かして書いている。	制作物の分析	☆④文字を速く読みやすく書くために行書が効果的であることを、学習を振り返って、具体例をもとに確かめさせる。

単元名		配当時間	学習目標 【学習指導要領の指導事項】・教材名	
五 学習のまとめ		2	・これまでの学習を生かして書く。 【書ア 字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと。】 【書イ 漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書くこと。】 ○今年の自分を漢字一字で表そう	
時	観点 評価の	学習活動における具体的評価規準 (B「おおむね満足できると判断される」状況)	評価方法	☆ Bを実現していない学習者への手だての例
1 2	態度 関心・意欲・	○これまでに学習した知識・技能を確かめ、適切に活用しようとしている。	行動の観察	☆○これまでに学習した知識・技能を、教科書を使って具体的に振り返らせる。
	言語についての技能	○選んだ字について、行書の特徴を確かめてから、色紙に書いている。 ○カードに理由や評価を書くとき、これまでに学習した楷書の知識・技能を用いて書いている。	制作物の確認	☆○「行書の特徴」(p.15)や「筆順の原則」(p.6),「改善した点(これまでに学習した技能)」(p.7)を実際に開かせ、書き方について具体的に確かめさせる。

単元名		配当時間	学習目標 【学習指導要領の指導事項】・教材名	
●書き初め		2	・「書き初め」という伝統的な活動について理解を深めるとともに、これまでに学習した知識・技能を生かして書く。 【書ア 字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと。】 【書イ 漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書くこと。】	
時	観点 評価の	学習活動における具体的評価規準 (B「おおむね満足できると判断される」状況)	評価方法	☆ Bを実現していない学習者への手だての例
1 2	態度 関心・意欲・態	○「書き初め」を書く意義と、これまでに学習したことを生かして書く意義とを理解しようとしている。	行動の観察	☆○「書き初め」を書く目的を確かめさせるとともに、書く目的に合った書き方を考えさせる。
	技能 言語についての	○これまでに学習した知識・技能を用いて、「書き初め」にふさわしい活用の仕方を意識して書いている。	制作物の確認	☆○これまでに学習したことを確かめながら、自分の「書き初め」にふさわしい書き方で書かせる。